

令和5年度 観音寺市議会 委員会研修状況

○研修の内容については、議会だよりに掲載しております。

※(正):委員長、(副):副委員長

| No.             | 研修日                   | 研修形態    | 参加議員名 ※  | < ■研修先 / ★研修項目 >  |
|-----------------|-----------------------|---------|--|---|
| 1               | 令和5年<br>7月5日～7日       | 総務委員会   | 石山 秀和(正)<br>篠原 重寿(副)<br>大賀 正三<br>大平 直昭<br>井下 尊義<br>篠原 和代<br>豊浦 孝幸  | ■ 栃木県宇都宮市   |
|                 |                       |         |  | ★ みやCO2パイパイプロジェクトについて   |
|                 |                       |         |  | ■ 群馬県前橋市  |
|                 |                       |         |  | ★ マイタク(でまんど乗合タクシー)事業について  |
|                 |                       |         |  | ★ 道の駅「まえばし赤城」について   |
| 2               | 令和5年<br>7月20日～21<br>日 | 広聴広報委員会 | 白川 雅仁(正)<br>三好 優子(副)<br>篠原 重寿<br>大矢 一夫<br>大平 直昭<br>合田 千佳子<br>岸上 政憲 | ■ 愛知県知立市  |
|                 |                       |         |  | ★ 議会モニター制度について ★ 高校生議会について ★ 議会のICT化及びデジタル化の取り組みについて              |
|                 |                       |         |  | ■ 愛知県犬山市  |
|                 |                       |         |  | ★ 市民フリースピーチ制度について ★ 親子議場見学会について ★ 犬山市いちにち女性議会について ★ 市民との意見交換会について |
|                 |                       |         |  | 3   |
| ★ 道の駅「むなかた」について |                       |         |  |   |
| ■ 福岡県うきは市       |                       |         |  |   |
| ★ 道の駅「うきは」について  |                       |         |  |   |
|                 |                       |         |  |   |

令和5年度 観音寺市議会 個人研修状況

| No. | 研修日                    | 研修形態   | 参加議員名                                 | < ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 >   |
|-----|------------------------|--------|---------------------------------------|---|
| 1   | 令和5年<br>10月25日～27<br>日 | 個人行政視察 | 篠原重寿<br>大久保隆敏<br>藤田 均                 | <p>■ 長野県長野市</p> <p>★ 長野県における地域資源「ジビエ」の有効活用について</p> <p>◆ ①施設概要:建設費3億5千万円、8名体制の直営で運営、平成31年4月稼働開始。<br/>②設備:解体室、熟成室、冷凍室。<br/>③衛生管理:国産ジビエ認証、信州産シカ肉処理認証取得。<br/>④設備経緯:イノシシ、ニホンジカによる農作物被害防止の為捕獲し、地域資源「ジビエ」として有効活用を目的として整備。<br/>⑤捕獲及び処理実績:現在、ブタ熱のためシカのみを受け入れ中。<br/>⑥令和元年度処理実績数:イノシシ601頭、シカ521頭。</p> <p>■ 茨城県水戸市</p> <p>★ 水戸市のプラスチックごみ分別と「えこみっと」について</p> <p>◆ ①令和2年「清掃えこみっと」の供用開始時に、プラ製容器包装の分別収集開始。<br/>②令和4年度排出量プラ製容器包装1,600t、燃えるごみ85,000t。<br/>③令和元年度燃えるごみ94,000tと比較して約10%減少。<br/>④焼却廃熱を利用した発電は、「えこみっと」の必要電力と残りを売電し、収入約8億7千万円(令和4年度実績)。</p> <p>■ 千葉県野田市</p> <p>★ 生物多様性・事前再生による自然と共生する地域づくりについて</p> <p>◆ ①生物多様性の戦略:「生物を守ることは、私たち人間の生活を守る」を基本理念とし、生物多様性のシンボルとして「コウノトリ」の飼育・繁殖の取り組みが市民や全国から注目され、保護への関心が高まっている。<br/>②自然農法として、農業に代わって黒酢を使った稲作に取り組んでいるが、一部の農地にとどまっている。</p>   |
|     | 令和6年<br>1月16日～19<br>日  | 個人行政視察 | 立石隆男<br>豊浦孝幸<br>井下尊義<br>大平直昭<br>合田千佳子 | <p>■ 神奈川県小田原市</p> <p>★ 小田原Lエール(小田原市女性活躍推進優良企業認定制度)について</p> <p>◆ 事業の目的:女性活躍に積極的に取り組む市内企業を「小田原市女性活躍推進優良企業」として認定し、紹介・情報発信することにより、女性活躍に対する意識の醸成と取り組みの推進を図る。<br/>事業の概要:対象は小田原市内の企業・法人、個人事業主。申請期間は毎年7月1日～9月30日で認定期間は2年(更新認定あり)。認定項目及び認定段階は「小田原市女性活躍推進優良企業認定制度運用基準」で、取り組みの段階に応じて「ゴールドステージ」、「シルバーステージ」、「ブロンズステージ」の3段階に分かれている。<br/>企業への支援:認定企業等には、愛称やロゴマークをデザインしたステッカーやプレートを交付する。ロゴマークは企業の印刷物やホームページ等への掲載可。認定企業等を女性活躍に取り組む優良企業として、市のホームページや広報等で紹介する。認定企業を対象としたセミナーや講演会等を開催する。<br/>事業の成果:ゴールドステージ50社、シルバーステージ24社、ブロンズステージ16社(令和5年11月14日時点)。企業はイメージアップ、人材確保につながっている。<br/>今後の課題:制度の発展を目指した運用、認定企業の役割、法整備や社会情勢等に応じた内容の更新を考えていく必要がある。</p> <p>■ 神奈川県藤沢市</p> <p>★ Fujisawaサステナブル・スマートタウン</p> <p>◆ 先進的な取り組みを進めるパートナー企業と藤沢市の官民一体の共同(まちづくり)プロジェクト。パナソニック工場跡地(19ヘクタール)に2014年グランドオープン。1,000世帯もの家族の営みが続くリアルなスマートタウンとして、技術先行のインフラ起点でなく、住人ひとりひとりのくらし起点のまちづくりの実現を目指す。<br/>100年先も『生きるエネルギー』がうまれるまちになるように、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設、公園、街区などを計画。コンセプトを現実の街にするために、まちづくりの道しるべとなる数値目標と、それを実現するためのガイドラインを設定。その上でタウンマネジメント会社をはじめとするまちの仕組みや、5つのスマートサービスを構築。<br/>一戸建て建売住宅:販売価格 約6,000万円 管理費:約13,000円/月<br/>アクティブシニア向けのシニアレジデンス2024年秋オープン予定<br/>超高齢社会の課題解決を通じた、持続可能なまちづくりモデルを進化させていく。</p> <p>■ 神奈川県三浦市</p> <p>★ 移住支援について</p> |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 2 |  |  | <p>◆ 移住定住の主な取り組み</p> <p>(1)移住相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数の推移 令和元年度:101件、令和2年度:136件、令和3年度:161件、令和4年度:102件、令和5年度:56件(12月末現在)</li> <li>移住者受入連携企業 19社 ・移住冊子「MIURA」配布部数:約7,400部(10,000部作成)</li> </ul> <p>(2)移住セミナー 開催状況/参加者数 令和2年度:4回/159人、令和3年度:2回/41人、令和4年度:3回/54人、令和5年度:1回/11人</p> <p>(3)移住講座(移住学) 開催状況/参加者数 令和3年度:1回/15人、令和4年度:2回/15人、令和5年度:1回/9人</p> <p>内容:住む(不動産)、関係人口とリモートワーク、町めぐり(市内バスツアー) 他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住施策による移住者数 世帯数/人数 令和元年度:2世帯/4人、令和2年度:5世帯/10人、令和3年度:7世帯/11人、令和4年度:9世帯/12人</li> </ul> <p>■ 千葉県銚南町</p> <p>★ 都市交流施設・道の駅 保田小学校</p> <p>◆ 過疎化や高齢化が進む中、経済活性化の起爆剤となる事業を創造し、町に人と仕事を呼び込むため、廃校を活用し、新たなコミュニティの核をつくるべくプロジェクトが始動。平成24年度 基本調査、平成25年度 実施計画、平成26年度 実施設計・着工、平成27年12月 開業</p> <p>整備費用:約12億5千万円(国庫補助金 約3.4億円、県補助金 約5千万円、町債5.3億円、一般財源 2.8億円)</p> <p>昭和43年に建てられた校舎の姿を残しつつ、リノベーションされた施設。</p> <p>体育館は大きなマルシェに、校舎棟には観光案内所や地域の飲食店が並び、町の農水産物や特産品、海や山など豊かな自然を発信する場所となり、音楽室では楽器やダンスの練習、家庭科室では加工品の試作を行えるなど、多目的に使用できるスペースを設置している。災害時の避難所や炊き出しができる機能も兼ね備えている。</p> <p>保田小に来場させる秘訣として、学校の雰囲気の特化、学校らしいお土産やイベント、頻繁なプレスリリースなどに取り組んでいる。</p> <p>令和4年度:売上高(テナント含む)約7.4億円※過去最高、レジ通過客数 27万人、来場者数(推定値)約78万人超</p> <p>課題:駐車場不足、飲食スペース不足、高速バス乗り入れの利用環境が未整備 など</p> <p>■ 東京都豊島区</p> <p>★ としまキッズパーク</p> <p>◆ UR都市機構所有の土地を無償借出し、豊島区の単費で整備(5年間の期間限定)</p> <p>開園:令和2年9月26日 借用期間2年延長(令和8年10月まで) 敷地:約1,000㎡</p> <p>整備費は全てリース(5年間/設計、建設、設備、維持管理、解体)</p> <p>小学校低学年までの子どもや障がいのある子どもたち向けの施設で、誰もが一緒に遊べるインクルーシブ公園の第一歩。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インクルーシブに配慮した代表的な遊具</li> <li>「車いすに乗ったまま触れる砂浜」「親子で乗れるブランコ」「親子で一緒に滑れるすべり台」</li> <li>園庭のない認可保育所および幼稚園が8割以上あり、平日の午前中は園児たちの貸切とし、子どもたちの遊び場として活用する。</li> </ul> |
|---|--|--|---|